

様式（第3条関係）

東京都とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都練馬区早宮 1-6-13
園名	ベネッセ氷川台保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と生き物

<テーマの設定理由>

駅に近い立地にありながらも大都会というよりは、緑も多く閑静な住宅街の中にあり、ちかくには生き物を観察出来る公園も沢山ある。保育形態を異年齢で構成し異年齢での関わりを大切にしており、その強みを活かし年長児の気づきを年中、年少児へ受け継ぐことが出来る。また、各学年11名ずつの定員のため、一人ひとりが探索活動を深めやすい環境にある。その中で、毎年公園で出会った青虫などを大切に育て巣立つまでを観察している。生き物が好きで観察や探索活動が好きな子どもたちが、より生き物の生態を観察し、様々なものに光をあてることで気づきや発見が出来るようにしていきたいと考えたため。

2. 活動スケジュール

- 1、光テーブルを導入
- 2、光テーブルを使って自由に遊びを広げる。様々な物体に光をあてて観察する。
- 3、光テーブルで生き物を観察する。カブトムシ
- 4、光テーブルで育てた根を観察する。トウモロコシ、小松菜
- 5、観察したものを描画であらわす。カブトムシ、トウモロコシ
- 6、子どもたちが自由な発想で観察できる環境設定をし、自由に使いたい時に観察出来る場を作る。
- 7、観察の幅を幼児クラスだけでなく2歳児クラスへ広げる。花紙、ペットボトル、セロファン

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

光テーブルの周りに光ると変化する物体や玩具を子どもたちが選んで遊べるように準備。

光テーブル・セロファン・色付きのペットボトル・マグフォーマー

生き物の観察をする時には、ムシメガネも準備。

光テーブル・ムシメガネ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動1：光テーブル導入

子どもたちが落ち着いて話を聞ける時間を準備。お話を待っているところへ突然光テーブルを持っていき、テーブルを光らせ、光ると色の変化が分かりやすい物質や玩具を光らせ見本を見せる。子どもたちは目を大きく見開いて「わあすごい、やってみたい、うれしいありがとう」など喜び早くやりたいという気持ちが見えた。保育士もオーバーにやってみせ、この活動が楽しいものであることを表出した。

活動2：実際に探求活動を楽しむ

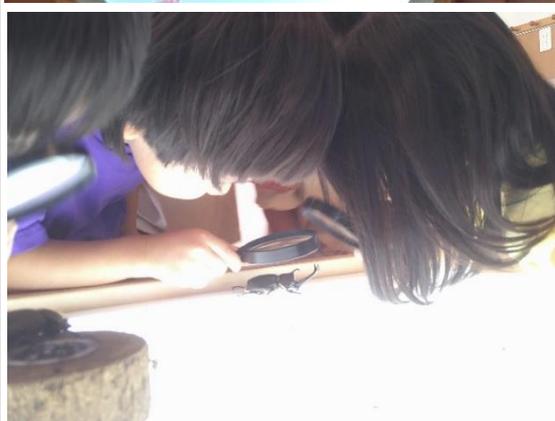
子どもたちが自由に使える環境を準備し、やりたい子どもが物を光にあてて遊べる空間を作った。初めの内は準備されていた物や玩具を光らせ観察する様子だったが、一人の5歳児が写し絵のやり方を発見し、「やってもいいか」保育者に確認し挑戦。それを見ていた子どもも真似をしてぬりえを写し、お友だちが描いた絵を写し描く様子があった。保育者は子どもたちが気づいた発見を褒め認め、写し絵が出来る環境を整えた。

活動3：描画を楽しむ

あまり、自由画を描かない児が多いため、光テーブルを使って生き物を観察し、絵に表現してみようを試みた。ムシメガネと光テーブルを使用しカブトムシを観察。「足に毛がはえている」「真っ黒じゃない」など、発見する様子があり、カブトムシを観察しながら描画を実施。日頃、描かない部分まで描こうとする様子があり、良い活動となった。その後あらためて、育てていたトウモロコシ、小松菜の観察を行い、再度描画を楽しむ経験をした。回数を重ねるごとに描画も細かいところまで描かれるようになり、発展していった。

活動4：対象年齢を広げる

幼児クラスでの活動が活発に行われるようになり、2歳児がそれを観察する様子が見られたため、2歳児も光テーブルで物を光らせてみる時間を取った。



5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

- ・観察するきっかけを作ることが出来たことで、より遊びを深めることが出来た。変化が分かりやすい題材だったことも良かったと思う。
- ・絵を描くことが好きな子どもが率先して行っていることを真似たり、上手な子どもが描いた絵を写し絵するなど、興味がなかった子どもも活動に積極的に参加することが出来たことも良い経験となった。
- ・夏の暑い時期、戸外に出られない時期にも色水遊びなどにも使用することが出来、子どもたちの興味関心を広げることが出来た。
- ・幼児クラスを対象に実施計画を立てていたが、幼児クラスの遊びの様子に興味を持った2歳児に対しても活動を広げることが出来たことも、進級に向け良い関わりのきっかけとすることが出来たことも良かった。
- ・もともと、生き物を育てることや観察することが好きな子どもたちだったが、光をあてることでより興味を深めることが出来ることを保育士自身も学ぶことが出来たことは良かった。